



題字 萩原田 親

No. 1029

2024/9/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区浅草橋2-1-3
浅草橋55番
電話 03(5730)2140(FD)
FAX 03(5730)2141
http://www.jcf-c.org.jp
E-mail: akachou@jcf-c.org.jp
社印 00119-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒708-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL: FAX 0861 258-8408

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福河町22461-41
TEL: FAX 0861 411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



残留孤児問題学習会

「中国残留孤児は

どうして生まれたのか？」

講師 青木康嘉

第4回



龍爪満蒙開拓女塾

2024年8月17日(土) 14時〜岡
輝公民館のパソコン教室で、標記の会
が開催されました。

当日参加者は10人でした。7人が
女性で3人男性でした。

講師は青木康嘉先生です。毎回レ
ジメを用意して、熱心に話してくださ
います。

今回の話しの中心は、今岡泰子さ
んという方でした。

1939年(昭和14年)彼女が2歳
の時、一家9人で龍爪開拓団八幡郷へ
移民したそうです。そこで妹と弟が生
まれています。

父母と長女、長男、次男、次女、三
男、四男、そして1937年生まれ
の三女泰子、四女、五男の11人の大家
族です。

長女の千盤子(ちえこ)は龍爪満蒙
開拓女塾の生徒として学んでいた。そ
の時の写真が上の写真です。

この満蒙開拓女塾の目的は、男性
一人で入植してくる人のための花嫁
候補として学ぶ事が期待されている
わけです。

1945年8月からの逃避行と収容
所での飢えと寒さなどで、五男、四
女、次男と亡くなりました。お母さ
んも倒れて家族全員が死にそうな状
態になったため、一番上の姉千盤子

(ちえこ)が家族に援助してもらっ
たことを条件に12歳上の中国人男
性と結婚しました。だから何とか
家族は生き延びることができたわ
けです。

泰子(9歳)も姉の夫の妹夫婦の
養女になった。姉が一人になること
を寂しがったため夫の妹夫婦に引
き取られることになった。家族は1
946年7月に葫蘆島から引き揚
げていきました。

そのことを泰子は知らされてい
なかつたため、後で気も狂わんばか
りに泣きました。

養家は貧乏だったため、泰子は
満足な教育を受けさせてもらって
いない。学校では日本鬼子(リーベ
ンクイズ)といじめられた。

1950年(昭和25年)父が 耒
引き揚げ邦人「届け出を提出し
た。姉千盤子との連絡が取れ、泰
子が生きていることがわかった。し
かし1953年、心の支えだった姉
千盤子が肺結核で亡くなり、中国
で泰子は一人ぼっちになった。姉に
は二人の幼い子がいた。

泰子は中国人であると偽って働
きに出た工場で知り合った楊克禎
と結婚し二人の子供に恵まれる。
1958〜1959年、泰子は父親
と3通の文通をしている。

1966年から中国で始まった
文化大革命では、知り合いの残留
婦人の夫が「日本のスパイ」と撲殺
される事件もおきた。日本人と
知られることを恐れ、泰子は家に
引きこもった。

1975年(昭和50年)泰子のも
とに兄からの写真が届いた。翌
年、二人の子供を連れて泰子は一
時帰国をした。中国に戻った泰子
は、夫の両親のことも考え永住帰
国は諦めかけていた。

その後その両親もなくなり、1
979年(昭和54年)永住帰国を
希望する手紙を兄嫁に送るが、
当時家族が身元引受をするため
の費用など負担する必要がある、
兄家族の経済状態が困難なため
遠慮するしかなかった。

1985年兄家族に経済的負担
をかけないという条件で身元保証
人になつてもらい一家4人で永住
帰国した。泰子は48歳になつて
いた。

2004年中国残留孤児裁判を
岡山地裁に提訴した。その時泰子
と夫の年金を合わせても7万円弱
しかないので、生活保護を申請し
ていた。生活保護中には海外旅行
はできない、つまり夫の両親の墓
参りにも行くことはできない。そ

れでも泰子は心の支えだった亡き姉の子供と孫を日本に呼び寄せている。

残留孤児裁判は、①早期帰国義務違反②帰国の権利妨害③自立支援政策の無策の3点で国を訴え、2007年 中国残留邦人支援法改正案が衆参両議院で全会一致で可決され、2013年には、配偶者への支援法が改正された。

現在は、残留孤児二世への支援を国に要請しているところです。

真田

感想文

8月17日(土) 14時〜16時に、岡輝公民館で中国残留孤児問題学習会④があった。参加者は10人で、先生は青木康嘉先生で、今岡康子さんの話だった。

わたしはもう4回目の参加だから、そのころの出来事とか、地図だとか、前にも勉強したとなんとなく思う感じになってきた。まだちゃんと覚えるには至っていない。それでも、少しずつ時代の流れがわかってきたような気がするから、疑問に思うところもぼつぼつと出てきた。とんちんかんな疑問かもしれないけども。

ところで、今回は学習会初参

加の2人から、感想をもらうことができた。 小川涼子

中国残留孤児について、この度初めて講義に参加させて頂きました。貴重なお話でした。苦しい立場の方々が、少しでも良い方向に進んでいけたらと願います。この問題についてお伝えして下さる人たちにも感謝の、気持ちです。(S・K)

初めて出席させていただきました。残留孤児のことは前にテレビで見知っているくらいです。今回の話はとても勉強になりました。有り難うございました。(O・F)

川崎祐宣川崎学園初代

理事長と中国との真の友誼

8月17日(土) 18時半〜20時半に、岡山国際交流センターで岡山県華僑華人総会の劉会長が講師の学習会があった。2024年の全5回のサマースクールで8月中の土曜日に中日友好近代史を学べる。17日は第3回でテーマは川崎祐宣川崎学園初代理事長と中国との真の友誼だった。

劉会長はいつも中国にゆかりのあった岡山の人たちのことを教えてくれる。今回のテーマの川

崎祐宣氏のことを私は知らなかった。川崎病院は知っていても、その理事長が誰かなんて興味もないからだ。川崎氏がどんな人で何をしたかなんてさっぱり知らなかった。

2時間の学習だから、重要なところしか学べないけれども、いろんな人がいたと知るきっかけになるので、参加することに意義があるとはこういうことなのか、と思う。

小川涼子

参考書持ち寄り

中国語学習会

8月24日(土)18時〜20時で岡輝公民館で学習参考書持ち寄り中国語学習会をした。参加者は3人だった。

中国語の参考書は英語と比べるとお高いものが多いので、ちよつとお仲間の持ち物を借りてみて、やつてみたらいいんじゃない? という感じの学習会だ。

持ち寄ってみると、三者三様の学参が集まった。

例えば私の学参は問題集が多めだ。HSKや中検のテキストだけでなく、基本、問題と解答があるものを好んで買ってる。

田中さんのテキストは丁寧を表

紙がかけられてるものがたくさんあって、きれいに保管されていた。場合によっては紙をひっぺがしてしまう私とは大違いだ。

真田さんのテキストは年季の入っているものが多かった。まいにち中国語も1990年代のだった。もらいものや中国語講座のテキストとして使ったものが多いらしい。問題はあつても解答がないのが多くあつた。ああいうの、答えわかんないときどうするんだろう……。そして持ち物整理とばかりに、「欲しいのあげる」と言われたので、何冊かもらつてきた。

さて、学習会としては、ちよつと学習時間が短かつたと感じた。念のためタイマーを持つて行つていたので、ピピピとなつたら勉強して、と声掛けしたのだけど、たぶん賞味30分くらいしか勉強してない。もつと効率的にお試しできる会ができたらよかつたなあと感じた。

小川涼子

映画 花の生涯 梅蘭芳

2024年4月21日(日)14時〜岡輝公民館にて、標記の映画を見る会を行いました。

当日参加者は∞人でした。

梅蘭芳は実在する人物です。京劇に魅了された一人の人物を見事に描いている作品でした。先輩の女形の役者が歌う劇中歌も素晴らしいものですが、やはり年齢には勝てず、引退を決意する場面では、「人間引き際が大切だよな」と自分のことと重ね合わせてしまいました。

そうなる後は梅蘭芳(役者はレオン・ライ)の右に立てる者はいなくなります。そこに登場するのがチャン・ツイイー演じる男形女優の孟小冬です。恋に落ちるわけですね。彼女が去つた後、アメリカ公演を企画したマネージャーの邱如白とともにアメリカでの公演を大成功させます。(1930年)

ところが、1937年日本占領下の上海、日本軍によって宣伝媒体として利用されようとする梅蘭芳は、その状況から逃れるため、自らチフス菌を注射して体調を崩すことまで行きます。(その時に登場する上級日本軍人に六平直政が扮していて、存在感を放つてた。好きな俳優さんです。)

1945年、日本が降伏すると梅蘭芳は舞台に復帰、満員の観客を前に京劇を演じます。日本の侵略が、あらゆる人の人生を狂わせたのでしょね、でも生き残つていてくれたよかったです。

最後になりましたが、監督は陳凱歌(チェン・カイコー)です。 真田

次回の新聞送付作業は

9月12日(木)午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださいました方です。

井吹田 飼
河貝真 犬